

医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---------|---|
| 研究課題名 | 再発難治多発性骨髄腫に対する DCEP、VTD-PACE 療法の有効性について |
| 研究責任者 | 梨本 淳一郎 |
| 研究機関名 | 日本赤十字社医療センター 血液内科 |
| 研究目的と意義 | <p>多発性骨髄腫は全造血器腫瘍の約 10%を占める悪性腫瘍です。近年、多くの新規薬剤の登場により、治療成績は徐々に改善してきていますが、それでも中には再発を繰り返してしまう方がいます。過去に再発・難治多発性骨髄腫患者さんに対する VTD-PACE 療法や DCEP 療法などの従来のがん剤をベースに使用したレジメンの有効性を示した報告はありますが、抗体薬などの新規薬剤が登場して以降のものは限られています。そこで、改めて再発・難治多発性骨髄腫患者さんに対する VTD-PACE 療法、DCEP 療法の有効性について検討する必要があると考えられました。当センターにおける VTD-PACE 療法および DCEP 療法を行った新規薬剤による治療歴のある多発性骨髄腫患者さんの診療データを検証することで、再発・難治多発性骨髄腫患者さんに対する適切な治療選択へつなげていきたいと考えています。</p> |
| 研究方法 | <p>対象は 2014 年 6 月～2019 年 6 月の間に当センターで診療した多発性骨髄腫の患者さんで、VTD-PACE 療法または DCEP 療法を行った方です。</p> <p>診療上必要性をもって行われたこれまでの検査結果や診療録の内容を元に、患者さんの臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。</p> <p>倫理的配慮：解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p> |
| 問い合わせ先 | <p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：梨本 淳一郎 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p> |